

「自己評価実施要項」及び 「評価実施手引書」について

独立行政法人
大学評価・学位授与機構

平成18年6月8日

自己評価書イメージ(全体)

法科大学院設置評価
自己評価書
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻
平成〇〇年〇月
〇 〇 大 学

目 次
I 対象法科大学院の現況及び特徴・・・1
II 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
III 章ごとの自己評価
第1章 教育目的・・・・・・・・・・〇
第2章 教育内容・・・・・・・・・・〇
・・・・・・・・・・・・・・・・・・〇
第10章 施設、設備及び図書館等・・〇

I 対象法科大学院の現況及び特徴
1 現況
(1) 法科大学院・研究科
・専攻名
(2) 所在地
(3) 学生数及び教員数
2 特徴
-1-

II 目的
・・・・・・・・・・・・・・・・・・
-2-

III 章ごとの自己評価
第1章 教育目的
1 基準ごとの分析
1-1 教育目的
基準1-1-1
(基準に係る状況)
-3-

基準1-1-2
・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(基準に係る状況)
-〇-

2 優れた点及び改善を要する点等
・・・・・・・・・・・・・・・・・・
-〇-

第〇章 〇〇〇〇
1 基準ごとの分析
〇-〇 〇〇〇〇
基準〇-〇-〇
(基準に係る状況)
2 優れた点及び改善を要する点等
・・・・・・・・・・・・・・・・・・
-〇-

第10章 施設、設備及び図書館等
1 基準ごとの分析
10-1 施設の整備
基準10-1-1
(基準に係る状況)
2 優れた点及び改善を要する点等
・・・・・・・・・・・・・・・・・・
-〇-

注) □ は、評価報告書に原則として原文のまま転載。

自己評価書の構成

- 1 対象法科大学院の現況及び特徴
- 2 目的
- 3 章ごとの自己評価

対象法科大学院の現況及び特徴

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

I 対象法科大学院の現況及び特徴

1 現況

- (1) 法科大学院(研究科・専攻)名
- (2) 所在地
- (3) 学生数及び教員数

2 特徴

.....

.....

.....

.....

.....

..... (2,000字以内)

目 的

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

Ⅱ 目的

- 1
- 2
- 3
-
-
-
-

- ・教育上の理念・目的, 養成しようとする法曹像などを記載
- ・項立て, 箇条書きなど分かりやすく工夫(2, 000字以内)

章ごとの自己評価

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

Ⅲ 章ごとの自己評価

第1章 教育目的

1 基準ごとの分析

1-1 教育目的

基準1-1-1 各法科大学院においては, その創意をもって, 将来の法曹としての.....。

(基準に係る状況)

.....

.....

.....

(基準ごと1, 600字以内)

「データ名」

(出典.....)

2 優れた点及び改善を要する点等

..... (章ごと1, 600字以内)

根拠となる資料・データ等の記載方法

- 本文中に記載した事項との関係が容易に確認できる位置に記載(資料・データの名称及び出典を明記)
- 必要最小限に整理(必要に応じて抜き出し, 加工)
- 本文中に記載することで, 読みにくくなる場合には別添として記載可能
- 外部に持ち出すことが困難なもの等については, 例示として必要最小限の範囲を記載→訪問調査時に確認
- 根拠資料・データを本文中や別添として記載できない場合は機構に相談

自己評価書の提出方法

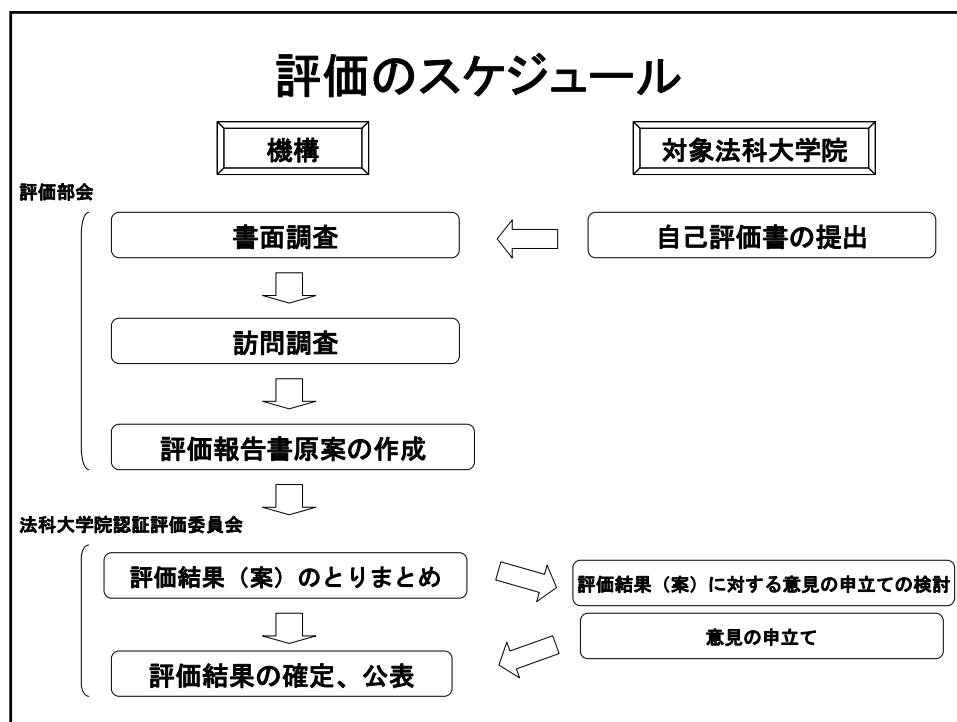
(イ)提出書類等

- ① 自己評価書:20部(両面印刷, 表紙裏は白)
次の根拠となる資料・データ等を含む
 - ・シラバス
 - ・成績評価基準
 - ・成績分布データ
 - ・自己評価実施要項の別紙2(別紙様式1~4)
- ② 自己評価書の電子媒体 1部

(ロ)提出締切 平成19年6月29日(金)必着

(ハ)提出先 大学評価・学位授与機構評価事業部

封筒表面の左側部に「法科大学院認証評価自己評価書在中」と朱書き



- ## 書面調査について
- 目的の確認
 - 章ごとの評価
 - ・ 基準ごとの分析・判断
 - ・ 章の評価
- （優れた点及び改善を要する点の抽出）

章全体の状況

○ ⁺	当該章の基準のすべてを満たしており、かつ、法曹養成の基本理念や当該法科大学院の目的に照らし、総合的に判断して、優れた状況である。
○	当該章の基準のすべてを満たしており、かつ、法曹養成の基本理念や当該法科大学院の目的に照らし、総合的に判断して、相応な状況である。
○ ⁻	当該章の基準のすべてを満たしているが、法曹養成の基本理念や当該法科大学院の目的に照らし、総合的に判断して、改善を要する状況である。
×	当該章の基準のうち、満たしていない基準があり、章として問題がある。

訪問調査の実施

日程

- 二日間
(初日:半日, 二日目:終日)

内容

- 法科大学院関係者(責任者)との面談
- 法科大学院の一般教員, 支援スタッフ及び関連する教育研究施設のスタッフとの面談
- 学生, 修了生との面談
- 教育現場の視察及び学習環境の状況調査
- 根拠となる資料・データ等の補完的収集
- 法科大学院関係者(責任者)への訪問調査結果の説明及び意見聴取

評価報告書の構成

- ① 法科大学院認証評価について
- ② 認証評価結果
- ③ 章ごとの評価
- ④ 意見の申立て及びその対応
(意見の申立てがあった場合のみ)
- ⑤ 対象法科大学院の現況及び特徴, 目的

評価報告書の「章ごとの評価」のイメージ

第〇章 ○○○○ ○〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

1 評価

第〇章のすべての基準を満たしている。

第〇章の基準のうち, 基準〇-〇-〇を満たしていない。

(根拠理由)

.....
.....。

2 優れた点及び改善を要する点等

.....
.....。

3 第〇章全体の状況

.....
.....。

平成19年度に実施する法科大学院認証評価のスケジュール

※原則として、下記スケジュールで行いますが、評価作業の進捗状況により変更が生じる可能性があります。

